

❀京西中学校区

めざす子ども像

『自らのまちに誇りをもって、自らのまちのことを語れる子ども』
 ・心のこもった挨拶ができる子・自ら学び考えようとする子
 ・自らの思いや考えを表現できる子・相手を思いやり、コミュニケーションがとれる子

▶京西中学校区 地域教育協議会

地域・子どもの現状	・京西校区は歴史的遺産や伝統工芸もあり、福祉・医療施設も多く、環境に恵まれた地域ですが 少子高齢化が進み、核家族化や共働き世帯が増える中で、生じる人間関係の希薄化が素直な子どもたちの成長に大きく影響している。 ・一方、地域・学校・家庭がしっかりと子どもたちを見守る活動に力を入れており、「自発的に元気に挨拶できる児童・生徒」が増えてきている。 ・さらには、地域・学校・家庭（保護者）が協力し合って授業サポート・図書室整備などの環境改善をする中で、児童・生徒は落ち着いて学習をするようになってきている。
伸ばしたい子どもの具体的な力	地域を知り、地域に誇りを持ち、地域の良さを発信できる力 自らの目標をもって、その達成に向けて粘り強く努力する力 自然を愛し、地域を大切にす豊かな心を育む
取組内容	◆史跡や文化遺産などを訪れ学ぶ機会を作り、自分たちの住んでいる街を理解してもらう活動を推進する。 ◆自然を愛し、地域を大切にす心豊かな子どもの育成に向け、地域・家庭・学校が協力して取り組む。



▶京西中学校 運営委員会

学校園・子どもの現状	豊かな自然と歴史的遺産に囲まれ恵まれた環境の中で、素直で人なつっこい生徒が多い。一方で社会の変化・核家族化等による人間関係の希薄化が生徒の成長に及ぼす影響は大きい。コミュニケーション能力や他者への思いやり、そして、自己実現に向けて継続的な努力の積み重ねができる生徒の育成を重点に取り組んでいる過程である。本事業の継続により、地域の人から「心のこもった挨拶が出来る生徒」が増えてきたとの評価も得、地域の方が学校行事に積極的に足を向けてくださり、参加者も増えている。
伸ばしたい子どもの具体的な力	・個々の生徒のコミュニケーション能力と豊かな人間性を育て、生まれ育った地域を誇りを持ち自らのまちを語れる力 ・自分のやるべきことを見つけ行動し、自分の意見を持ち、伝えたいことを周りに伝えるとともに、思いやりのある心をもって相手の考えにも耳を傾けることができる力
取組内容	・環境整備事業・花いっぱい事業を推進し校内の美化に努めると共に、きれいな心を育てる。 ・豊かな人間性を育てるため、地域の方々から生き方を学ぶ生き方学習・地域の方々とともにを行うボランティア活動を充実させる。 ・小学校と連携し挨拶活動の輪を広げ、「挨拶が響き合う学校」から「挨拶が響き合う校区」を目指す。



▶六条小学校 運営委員会

学校園・子どもの現状	学校の研究主題である「自分で考え、協力し合い、実践に移せる子」が、子どもたちの中に定着し始めて来ている。その実行が、地域行事や地域社会でできれば、地域からも賞賛を受け認められ、より自信がつく段階にまで来ている。
伸ばしたい子どもの具体的な力	一昨年度からの目標 ・人前で、自分の夢や考えを明確に語れ、伝える力 ・豊かな心を持つようとする力 ・困難に負けず、打ち克ち、伸びようとするたくましい力 ・自分たちの地域を誇れる力…に、更に力を入れる。
取組内容	「わたしらの地域って、こんなに素晴らしいねんで。自慢できるし、誇れる人もいっぱい！」と実感できるよう、学校行事等を通じて、子ども達や保護者にアピールする。また、地域の方々にも子ども達の様子や保護者の思いを発信し、もっと「子どもたちを受け入れたい」と感じてもらう。



▶伏見南小学校 運営委員会

学校園・子どもの現状	地域をあげて安全見守り活動を実施していただき、互いに元気よく挨拶を交わし合う中で、地域の方と子ども達のつながりは、年々強まっている。地域の方と共に教育環境作りに励み、花や緑に囲まれ、行き届いた清掃などにより、落ち着いた学習環境の中、しっかりと学習に取り組んでいる。地域の方とキャリア教育を進めていく中で、働くことの大切さや喜びを学び、確かな勤労観を身につけつつある。
伸ばしたい子どもの具体的な力	・学びに向かい、学びを実践していく力 ・なかまと支えあい、思いやりの心をもつ力 ・健康に気を付け、すこやかに育つ力 ・郷土を愛し、郷土に誇りを持ち、郷土から発信する力 ・自らの将来像を描き、グローバルに働く夢を広げる力
取組内容	中学校区でめざす子ども像『自らのまちに誇りをもって、自らのまちのことを語れる子ども』及び、学校教育目標「心はずませ、夢に向かって、学びをいかす伏見南っ子の育成」を実現するために、学習面では、「学習習慣を身につけ、自ら学び考えようとする子」「自分の思いや考えを相手に分かりやすく表現できる子」、生活面では、「心のこもったあいさつができる子」「相手を思いやり、コミュニケーションがとれる子」を目指すために「豊かな心・人間関係力の育成」に取り組む。



▶六条幼稚園 運営委員会

学校園・子どもの現状	核家族がほぼ全体を占める。母子家庭や両親の就労などから、日々の生活に追われ子どもとかかわる時間がとれない、子育てに不安がある、等の悩みを抱えている家庭がある。生活経験不足や親中心の生活の中から自尊感情が構築できないなど、家庭教育の中でのしんどさがある。そのため子どもたちは、コミュニケーション力、自ら学ぼうとする意欲、最後までやり遂げようとする気持ちに欠けるところがある。
伸ばしたい子どもの具体的な力	子どもが、自ら「もの・こと・ひと」にかかわりながら、触れ、感じ、考えながら主体的に遊びに取り組む力を育みたい。世界遺産学習や環境教育の取り組みから、感動体験を味わったり、コミュニケーション力を身につけたり、心と体で、感じとり表現できる力を育む。日々の生活が充実することで将来に対しても夢を持ち、生き抜く力が身につくようにしていきたい。
取組内容	子育て支援活動としてのワイワイランド、世界遺産学習や環境教育としての菜の花プロジェクト、地域の方と一緒にしていく環境整備や花壇整備・栽培活動など地域の組織力や個々の教育力を活かした取り組みを充実したものにしていきたい。



▶伏見南幼稚園 運営委員会

学校園・子どもの現状	様々な家庭事情を抱えている子どもが増え、家庭での経験の差が大きい。園児は人懐っこい子も多いが、人との関わりに対して積極的な子、消極的な子の差が見られる。保護者も地域や人との関わりが希薄で、子育てに不安や迷いを抱えている様子が見られる。 事業を通して、地域の方や身近な人々など関わる機会が多くなり、自分から挨拶をしたり話しかけたりするようになってきている。家庭や地域の実態から今後の課題として健康な心と体の育ちへの取り組みを進めたい。
伸ばしたい子どもの具体的な力	・健康でしなやかな心と体をもつ子 〈のびのび〉 ・生命を大切にし思いやりのある子 〈ほかほか〉 ・願いを出し合いなかまと共に遊ぶ子〈わくわく〉 ・よく考え工夫し最後までやり遂げる子〈こつこつ〉 ・感動する心や表現する心をもつ子〈きらきら〉
取組内容	・様々な人とかかわりの中で、進んで挨拶し交流する。 ・地域や地域の人材をを活かしたり、外部講師を招いたりして、内容の充実を図り、園児から大人まで感動体験ができるように取り組む。 ・自分の言葉で思いを伝えたいような経験や活動の創造に努める。 ・多様な経験の中で体力の向上を図るとともに、講師を招く機会をつくり、健康な心と体づくりを推進する。

